

新型コロナウイルス Q&A

新型コロナウイルスの感染者は、1月31日時点で約9,000人、死亡者は200人以上と報道され、医学誌への報告によれば、中国での初期の感染者の死亡率は11%とのことでした。日本では「指定感染症」に指定され、世界保健機構（WHO）は「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言しました。

それを聞くと誰しも不安になるものと思われます。
よくある不安や疑問について以下に解説しました。

新型コロナウイルスに感染したらどうなるの？

感染したと仮定するだけでも、とても不安になり、どんな治療が行われ、どうなるのだろう？と思うことでしょう。

実際の治療はどうかというと、**現在、新型コロナウイルスに効く薬はありません。**したがって、熱が出たら熱冷まし、痰がからんだら痰をさらさらにする薬を飲むなどの「対症療法」が中心です。そこでもし、肺炎になるなどしたら入院することになります。さらに、重症化したら人工呼吸器をつけることになりますが、やはりこの時も対症療法が中心で、特効薬はありません。

自分の免疫がウイルスを撃退し嵐が過ぎ去るのをじっと待つのです。

重症化するかどうか、また最終的に治るかどうかは自分の免疫力にかかっています。

死亡率11%（最近では3%）との報告もありますが、逆に言えば十中八九は治っています。
感染防止につとめて**安静・栄養をとる**など抵抗力をつけておきましょう。

新型コロナウイルスの診断は早い方がいいの？

上に書いたように、新型コロナウイルスには特効薬がないので、感染していることが早くわかったとしても、肺炎などの発症を抑えたり、治癒を早めたりすることはできません。不運にも肺炎になってしまった人にとっては、早期診断は他の不必要な検査や治療を省くことができるという点ではメリットがありますが、症状のない人や軽症の人にとっては、新型コロナウイルスであるかどうかは、治療方法にほとんど関係ありません。

つまり、**早期診断は感染した人にはほとんどメリットがありません。**

早く診断する最大のメリットは、**他人への感染を防止するのに非常に役立つ**ことです。

症状がない人も、自分が感染しているものと仮定して、他人にうつさない方策をとれば、**感染拡大を防げるはず**です。

新型コロナウイルスの検査はどこへ行けばやってくれるの？

インフルエンザなどでは、病院が簡単なキットを置いていて容易に検査ができます。しかし、新型コロナウイルスに関しては、まだそういったキットはありません。現在、新型コロナウイルスの検査ができるのは、地方衛生研究所または国立感染症研究所のみです。医療機関が保健所を通して痰や尿などをそれらの研究所に送ることによって検査を行います。

しかし、感染を心配する人が皆検査をすると、数が多過ぎて本当に必要な検査に支障が出てしまいます。

保健所も、疑わしい症状がある人にしぼって検査を勧めているので、通常、症状のない人の検査はどここの医療機関でも行っていません。

症状のない人は、医療機関を受診するのではなく、感染防止につとめて安静・栄養をとるなど抵抗力をつけるようにしましょう。

検査対象に関する詳細な内容は、[検査対象についてのページ](#)を参照してください。

発熱や呼吸器症状が出たらどうするの？

発熱や呼吸器症状があつて、かつ 2 週間以内の武漢への渡航歴があるかそういった人と接した場合には、[保健福祉事務所（0463-32-0130）](#)にお問い合わせ下さい。

一方、発熱や呼吸器症状があつても、中国への渡航歴がない、そういった人とも接していない場合には、症状の程度に応じてかかりつけ医にご相談下さい。

自分が感染しない、人にうつさないためには

「新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～」

<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

など、イラスト入りで心がけるべき点が記してあります。

是非、呼んでおいて下さい。

平塚市民病病院
感染対策室